



学校だより

開桜 12月号

令和2年11月27日

大田区立開桜小学校

校長 伊藤 均

子供の姿は元気の源

校長 伊藤 均

まもなく師走。自分は今年1月の学校だよりにどんなことを書いたのか気になり見てみると、「東京2020」という題名で、五輪を機に取り組みたいことを書いていました。その後の世の中の変化、厳しい状況には驚くばかりです。このような中、子供たちの姿がいつも私に元気を与えてくれます。

◆ある日の朝、登校した2年生数人が、朝日を受けながら自分の鉢に水やりをしていると、どんどん人数が増えていきました。そこに担任の先生が姿を見せると、途端に喜々とした雰囲気さらに勢いを増して賑やかになっていきました。その笑顔や歓声が何ともかわいらしく、人や自然とかかわることを楽しく感じていることが伝わってきました。

◆小春日和だった16日に、6年生が学校から六郷土手まで旧東海道をグループごとに時間差をつけて歩くという“特別な遠足”に行ってきました。写真や地図を頼りに約10kmを全員が無事に計画どおりに歩き切りました。私は雑色駅近くのポイント係として子供たちを見守っていましたが、交通安全に気を付けてチームワークよく通過していく姿は、何ともたくましく微笑ましく目に映りました。もちろん疲れたけれど、満足感・達成感を感じたという感想が何よりでした。

◆児童の代表委員会が中心になって取り組んだ初めてのパフォーマンス集会。寸劇や漫才、歌唱に特技披露など、カメラの前で堂々と発表する開桜小のスターたちには恐れ入りました。寺尾聡の「ルビーの指輪」を歌い踊る男児には驚愕！

ここまで、学校公開、体育学習発表会、遠足・校外学習等をどうにか工夫して実施してきました。子供たちの生の姿を参観された保護者の方々から、「安心した」「元気をもらった」との声をたくさんいただきました。やはり、生き生きとした子供の姿は、私たち大人にとっての“宝物”ですね。

しかし、気を付けたいです。このコロナ禍で子供たちの心が本当に元気、大丈夫とは言えないのではないのでしょうか。笑顔の陰に潜む子供たちの内面を推し量る鋭敏さやゆとりをもっていなければと思います。

またもや感染拡大傾向が強まっており、「子供たちと家族の方は大丈夫だろうか」「頑張っている先生たちは休まず続けられるだろうか」と心配が尽きません。誰もがこの年の瀬

演劇教室が実施できることになりました

毎年実施しているプロの劇団による「演劇教室」。通常は低・高学年に分かれて行うのですが、今回は密を避けるため、学年ごとの観劇方法にしたいと、劇団と交渉しました。計6回の公演となりますが費用を上げずに行っていただけます。貴重な学びの機会が継続できることになり良かったです。

12月の行事予定

- 1日(火) 遠足(5年)
- 2日(水) 委員会活動 演劇鑑賞教室(3年)
- 3日(木) 演劇鑑賞教室(2・6年)
- 4日(金) 演劇鑑賞教室(1・4年)
- 5日(土) 3校時授業 土曜補習
演劇鑑賞教室(5年)
- 7日(月) 5校時授業 ユニセフ集会
交通安全教室(2・3年、4~6年)
- 8日(火) 5校時授業
ユニセフ募金(~11日)
薬物乱用防止教室①(6年)
- 9日(水) 安全指導 クラブ活動
- 10日(木) 薬物乱用防止教室②(6年)
- 11日(金) 児童集会 避難訓練(火災・消火)
- 14日(月) 5校時授業
- 15日(火) 社会科校外学習(6年)
- 17日(木) 5校時授業
科学実験教室出前授業
- 18日(金) 5校時授業
- 21日(月) 全校朝会 遠足予備日(5年)
学校出張コンサート(5・6年)
- 22日(火) 水曜時程 5校時授業
- 23日(水) 水曜時程 5校時授業
東邦大学命まるごと応援(6年)
- 24日(木) 水曜時程 4校時授業
給食終 大掃除(2校時)
- 25日(金) 水曜時程 4校時授業
終業式
冬季休業日始(12月26日~1月5日)

※SC(スクールカウンセラー) 在校日…火・木

◆生命尊重週間 12/1~5

◆開桜小体育系週間 12/1~11

◆SNS東京ルール週間12/14~18

12月の生活目標

身の回りをきれいにしましょう。

2学期のまとめ、そして1年間を締めくくる時期になりました。

学習道具や印刷物などの持ち物を道具箱やロッカーの中にきれいに整理整頓して片付け、使いやすく保つこと、また、教室や廊下などの掃除も、心を込めて丁寧にするを目標に指導してまいります。

自分の持ち物や公共の物を大切に、すっきりした気持ちで2学期が終えられるように、ご家庭でのお声かけもお願いします。

学年の窓（3年生）

3年生は、社会科「安全な暮らし」を学習しました。身近にある消防用設備を調べたり、消防署に見学に行ったりしました。子供たちは消防官の話に興味深く聞きながら、疑問に思ったことを質問して、充実した見学になりました。

火災時に人々の命を守るために、消防官や警察官や地域の人など、自分たちが思っていたよりも多くの人たちが関わっていることが分かりました。学習したことは消防新聞にまとめました。学んだことを生かして火災が起きないために自分たちができること、起きてしまったときに自分たちがとるべき行動について考え、生活してほしいと思います。



人権週間・生命尊重週間の取組

本校では、生命尊重週間（12月1日～5日）に、教育目標にある「人の気持ちが分かり、行動できる子」の育成を目指し、学校全体で相手の気持ちを考えて行動できるように取り組みます。道徳では、生命尊重にかかわる内容を重点的に指導し、命を大切にする意識を高めていきます。以前、校内で募集した人権啓発の標語では、「やさしさはうれしくさせる まほうだよ」（1年）「友だちも 自分も 家族も なかよしに」（2年）等の作品が集まりました。開桜小児童のそれぞれのよさを精いっぱい発揮し、互いを尊重して認め合える児童の育成を目指します。また今年度は、新型コロナウイルス感染症から生まれる差別・偏見をどうなくしていく

学校評価と地域教育連絡協議会

大田区立学校では、共通様式に基づいて「学校自己評価」を行うことが定められています。それぞれの項目について、アンケートの集計結果等も踏まえて学校ごとに自己評価を行います。さらに、その自己評価の報告内容が適切であるかどうかを、10名の地域教育連絡協議会委員の皆様（町会長等、学校を日ごろから見守ってくださっている地域の代表）に精査・評価していただくとともに、学校ホームページを通じて広く評価結果の報告を行います。

学校評価の充実は、直接、教育活動の充実に結びつくものです。保護者の皆様には、「学校アンケート」を12月初旬に配布をさせていただきます。回答へのご協力をお願いいたします。

外国語活動の取り組み

本校では担任と外国語指導員のグレン先生が連携し、全学級で外国語に慣れ親しむ活動を行っています。新学習指導要領が実施され、中学年は「聞くこと」「話すこと」を中心とした活動、コミュニケーションを想定した活動を行っています。高学年は英語が教科となり、教科書を使って授業を行い、他の教科と同じように3観点で評価を行います。学習内容は「聞くこと」「話すこと」に加えて、「読むこと」「書くこと」の4つを取り入れた授業を行っています。また、日本語や日本文化への理解を深めながら、外国語やその背景にある文化などへの異文化理解も推進しています。

どの学年も簡単な英単語や身近な事柄の英語のフレーズを使って楽しく外国語活動を行っています。ぜひご家庭でも話題にしたり、英語を使ったりして、さらに外国語に慣れ親しんでほしいです。